

カムイの森公園 Kamui no Mori Kouen

公園・キャンプ場 利用者へお願い

- キャンプ場利用者は、「森のふしぎ館」で受付を済ませてから、ご入場下さい。
- 園内では、「ペットの放し飼い」「たき火・打ち上げ花火」などはご遠慮下さい。

森のふしぎ館 わくわくエッグ ご利用案内

- 開館時間
午前9時～午後5時
※7/1～8/31は午前9時～午後7時
- 休館日
毎月：第2月曜日
(月曜日が祝日の場合はその翌日)
年末年始
- 料金：無料

■案内図 ●アクセス：市内中心部から約6km



お問い合わせ 森のふしぎ館(体験学習館)

旭川市神居町富沢125番地 ☎0166-63-4045

●監修：旭川市土木部公園みどり課 ●企画・発行：公益財団法人旭川市公園緑地協会

★このパンフレットは、公益財団法人旭川市公園緑地協会の「公益目的事業」として発行しました。

<http://www.asahikawa-park.or.jp>

(初版 平成20年9月)
(改定 令和5年5月)

カムイの森公園

もり こう えん



あん ない ぞ
公園案内図

カムイの杜公園

a forest of Kamui



あそびの広場ゾーン

- 1 森のふしぎ館(体験学習館)
- 2 わくわくエッグ(屋内遊戯広場)
- 3 多目的運動広場
- 4 テニスコート
- 5 わんぱく広場

ふれあいの水辺ゾーン

- 6 多目的芝生広場
- 7 水辺の広場
- 8 調整池
- 9 工作小屋
- 10 キャンプ場

まなびの丘ゾーン

- 12 野原
- 13 冒険の森
- 14 自然探索の森
- 15 育樹の森
- 16 観察池

旭川市

楽しみがいっぱい! カムイの杜公園





カミイの社公園の楽しみ方



森のふしぎ館

「森のふしぎ館」では、自然観察会や木工教室などの体験学習教室やおもしろ工作・実験タイムなどの、

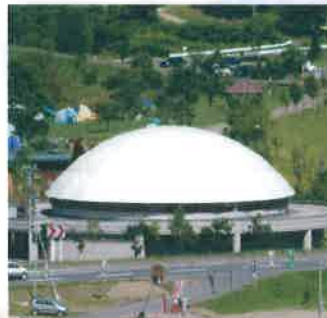
楽しい体験ができるよ。

森のふしぎや自然の素晴らしさを紹介しているので、遊びに来てね!



わくわくエッグ

「わくわくエッグ」は、屋内の施設なので、天候に関係なくいつでも遊べるよ。滑り台や迷路、ネット遊具で体を使って親子でおもいっきり遊んでね!



わんぱく広場

「わんぱく広場」には、フクロウをイメージした大型アスレチック遊具やターザンロープ、滑り台などがあるよ!

冬はチュービングコースで遊べるよ!



冒険の森

野原は芝生と違った魅力がいっぱい!

「冒険の森」には、皆の遊具もあるよ。



カムの杜公園キャンプ場

■開設期間：5月1日～10月31日

●利用時間：宿泊▶11:00～翌日11:00、デイキャンプ9:00～17:00

●受付時間：宿泊▶11:00～17:00（7・8月は19:00まで）、デイキャンプ▶9:00～17:00

●受付場所：森のふしぎ館（体験学習館） ※受付後、入場・リアカー使用可

●場所の指定：宿泊とデイキャンプのエリアが分かれています。指定の場所をご利用ください。

●火気の取扱い：芝生の枯損、野火等の事故防止から、火気を使用する場合は、コンロと芝生と一定の間隔をとり、芝に直接熱が伝わらないようにしてください。※焚火や打ち上げ花火はご遠慮ください。

●使用料

区		分		料金
個人使用(入場料)	宿泊	大人	1人	300円
		高校生	1人	200円
	デイキャンプ(日帰り利用)	大人	1人	200円
		高校生	1人	130円
サイト使用	宿泊	テント・タープ	各1張	500円
	デイキャンプ(日帰り利用)	テント・タープ	各1張	300円



カムの杜公園テニスコート

●コートの概要：全天候型砂入人工芝コート4面(硬式2面・軟式2面)

●使用期間：4月20日～10月20日

●使用時間：6:00～21:00

●使用料(1面)

区	分	料金
個人使用(1時間)	大人	370円
	高校生以下	180円
夜間照明(1時間)		580円

●受付：テニスコートを使用される方は「森のふしぎ館」(体験学習館)で受付をしてください。早朝(午前6時～9時)・夜間(午後5時～9時)に使用する場合は予約が必要です。



こどもと自然が 主役の公園です

カムの杜公園は、「平成記念子どものもり公園整備事業」として平成3年度に建設大臣より指定を受けた全国15公園のうちのひとつです。

この公園は、未来を担う子どもたちが緑豊かな環境の中で健やかに成長することを願いつくられたものです。

カムの杜公園は、富沢の自然環境を活かして子どもたちがのびのびと自然に親しみ楽しむことができる公園としてつくられました。



カムの杜は こうして誕生しました

カムの杜公園は、地域の小学生による「カムの杜公園子ども会議」(平成4年)で出された意見を参考に作られました。

「子ども会議」では、屋内施設に対する要望が多く出されました。そして現在の屋内遊戯広場(わくわくエッグ)が作られました。

「子ども会議」の後に「わくわくエッグ」の愛称と遊具のイメージについて近隣の小学生からアイデアをだしてもらいました。

また、自然探索の森(みんなの森)では市民の人たちの参加により手づくりで森の環境が作られています。

